

直播特報（第1号）

令和5年4月7日
黒東地域農業技術者協議会

～播種後の水管理と除草剤散布～

直播栽培では、確実な苗立ちの確保と的確な雑草対策が重要です。播種方法に応じた水管理のポイントを理解し、適期の除草剤散布に努めましょう。

I. カルパー直播栽培

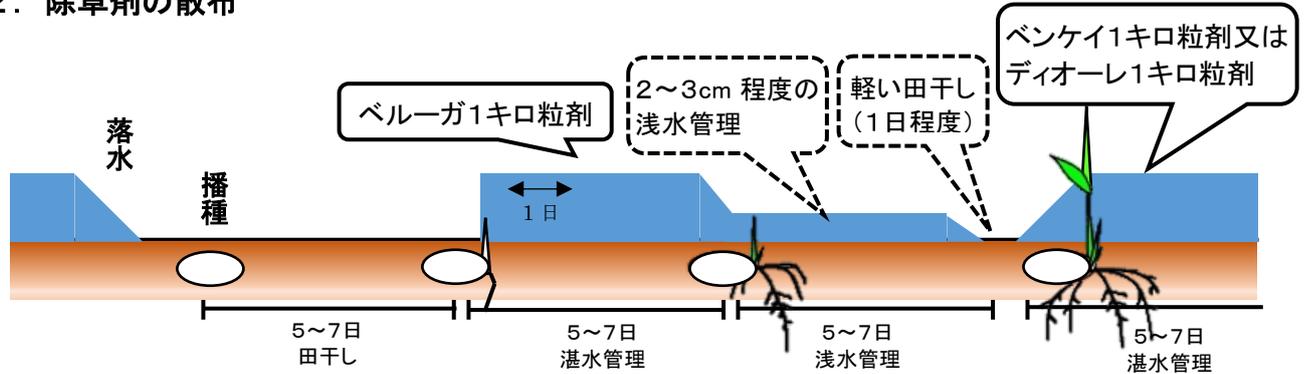
ポイント！
しっかり乾かす！

1. 播種後の水管理

- ・ほ場全体の土壌表面に短い亀裂が入るまで田干しを行いましょ（播種後5～7日間程度）。
- ・水がたまっている場所は、排水溝を増設し、確実に田干しを行いましょ。



2. 除草剤の散布



【播種後の水管理と除草剤散布のスケジュール】

散布	時期	除草剤名（散布量）	備考
1回目	播種後6～8日頃	ベルーガ1キロ粒剤 (1 kg/10a)	入水した翌日に散布
2回目	1回目の約2週間後 (イネ本葉1葉期以降)	ベンケイ1キロ粒剤 又はデオーレ1キロ粒剤 (1 kg/10a)	気温が高い時は雑草の生育が早まるので遅れないよう散布

※除草剤の散布にあたっては、散布後5日間程度は湛水を保ち、7日間は落水しない！

3. 田干し後の水管理

- ・出芽後は水深2～3cm程度の浅水管理を徹底し、初期分けつの確保に努めましょ。
- ・チラ干しになりやすいので注意ましょ。
- ・風の強い日や低温の時は、深水にましょ。
- ・鳥害の発生に注意ましょ！

・スズメの場合⇒入水（水深3～5cm）
・カモの場合⇒落水

【直播栽培における省力的病害虫防除】

協議会では、ルーチンシードFS（いもち病）、ヨーバルシードFS（イネツトムシ、イネドロオイムシ、イネミズゾウムシ、ニカメイチュウ）を処理したカルパーコーティング種子を供給していますので、初期害虫や葉いもち病の防除は必要ありません。

II. 鉄コーティング直播栽培

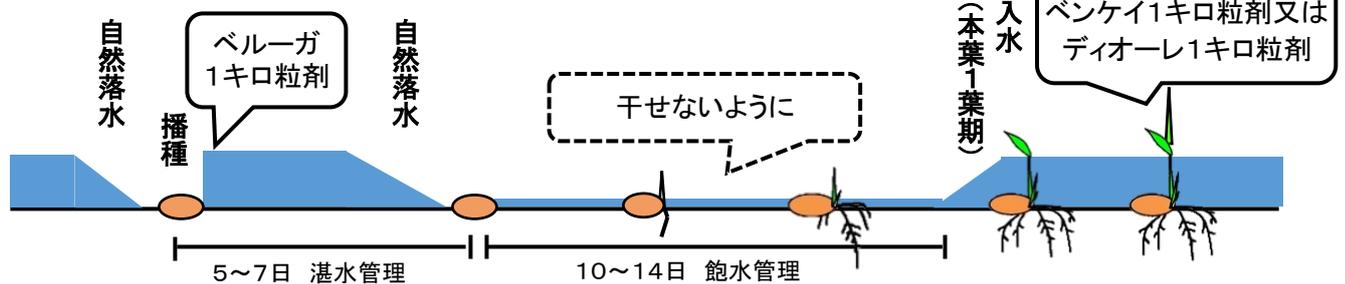
ポイント！
播種時に除草剤散布

1. 播種後の水管理

- ・播種後5～7日はやや深水（水深5cm程度）の湛水管理を行い、播種時に散布した除草剤の効果を高めましょう。
- ・湛水管理後に自然減水した後は、イネ本葉1葉期まで飽水管理（ヒタヒタ水）を行います。ただし、スズメの飛来が確認される場合は、湛水して被害を防止しましょう。
- ・播種後、表土が膜状に浮き上がる現象（表層はく離）が見られた場合は、田干しを行いましょう。



2. 除草剤の散布



【播種後の水管理と除草剤散布のスケジュール】

散布	時期	除草剤名（散布量）	備考
1回目	播種時	ベルーガ 1キロ粒剤 (1 kg/10a)	播種後すみやかに 入水
2回目	1回目の約2週間後 (イネ本葉 1.5~ 2 葉期)	ベンケイ 1キロ粒剤 又は ディオール 1キロ粒剤 (1 kg/10a)	気温が高い時は雑草 の生育が早まるので 遅れないよう散布

III. キリウジガガンボに注意

- ・幼虫の発生と出芽のタイミングが一致すると芽や種籾を食害し、出芽不良となります。
- ※排水不良田や有機施用田では出やすいので、毎年出芽不良が発生する方は、営農指導員や振興センターにご相談ください。



幼虫

JAみな穂営農センター TEL 74-2440

JAみな穂中央支店経済課 TEL 72-5379

JAみな穂西部支店経済課 TEL 72-1162

JAみな穂南部支店経済課 TEL 78-1167

JAみな穂あさひ支店経済課 TEL 83-3212

新川農林振興センター農業普及課 TEL 52-0094